

# 令和6年度 群馬県立高崎女子高等学校 学校経営方針

令和6年4月3日(水)

## 1 校訓

向学叡智・清楚品位・明朗闊達

## 2 教育方針

- (1) 常に真摯に学びに向かい、高い知性を持ち、自ら考え、判断し、行動できる生徒を育成する。
- (2) 飾り気がなく、清らかで気品にあふれる生徒を育成する。
- (3) 明るく前向きで心が広い生徒を育成する。
- (4) グローバル社会でリーダーとして活躍できる生徒を育成する。

## 3 高女の伝統にプラス

- (1) 高女 SAH の最上位目標「自ら考え、判断し、行動できる生徒の育成」
- (2) 高女スクール・ポリシー (GP・CP・AP)

### ① GP (グラデュエーション・ポリシー) 「このような力が身に付けられる学校」

1. **【自立】**「教わる」から「学ぶ」へ。  
自ら学び、行動する力が身に付けられます。  
＜自立心・メタ認知力＞
2. **【創造】**「高女から社会を変える！」  
誰かのためになることを新たに創造する力が身に付けられます。  
＜探究力・挑戦力＞
3. **【対話】**「地域から世界ぜんぶが私のフィールドになる！」  
多様な人々との対話を通し、グローバルに活躍できる力が身に付けられます。  
＜人間性・粘り強さ・グローバル力＞

### ② CP (カリキュラム・ポリシー) 「このような学びの場を提供する学校」

- 高いレベルの進路目標を実現するため、学習活動や探究活動、学校行事、部活動などにバランス良く取り組みます。
1. 自らの学びや生き方を自己調整できる力を育てる場を整備するとともに、「**主体的・対話的で深い学び**」を重視した授業を行います。
  2. 豊かな社会を自らデザインし、課題を発見・解決する力を育てるため、**探究的な活動**を推進します。
  3. グローバル社会で通用するコミュニケーション能力を育てるため、生徒が**多様な人と交流・対話**する機会を設けます。

### ③ AP (アドミッション・ポリシー) 「このような生徒を待っている学校」

1. 自ら進んで学びを深め、高い進路目標を実現したい人。
2. よりよい社会を創造する意欲を持ち、探究的な活動に取り組みたい人。
3. 自他の個性を認め、協働して物事に取り組むことで、自分の可能性を広げたい人。

#### 4. 今年度の重点目標

##### (1) 高女SAH (Student Agency High School) 指定校の推進

- ① 生徒の主体性を尊重し、「自ら考え、判断し、行動できる生徒の育成」を目指す。
- ② 高女SAH 9つの具体的取組を推進する。
- ③ 高女生の、高女生による、高女生のための高崎女子高校とする。
- ④ 生徒は「教わる」から「学ぶ」へ、教師は「指導」から「支援」へ。  
(生徒の無限の可能性を信じる。一人の大人として対応すれば大人になる。)

##### (2) 3年間を見通した進路指導体制の確立 (GP. 1 <メタ認知力>)

- ① 高崎女子高校進路指導計画2024を作成し、組織的に進路指導を行う。
- ② 学年共通の進路指導
- ③ 難関大対策 (NP)・医学科対策 (MP) の設置
- ④ 総合型選抜・学校推薦型選抜への対応

##### (3) 「主体的・対話的で深い学び」を重視した授業の充実 (GP. 1 <自立心>)

- ① 先生方の役割は、生徒が主体的に学ぶように支援すること。

###### 《教師の心構え 10 箇条》

- ① 授業開始時、生徒と目標を共有する。
- ② 説明はコンパクトに (授業での説明の時間は1/3 (15分程度) 以内を目指す。)
- ③ ペアやグループ等で活動する場면을意識的に設ける。  
(先生と生徒の1対1の対話 (言語活動の充実) ではなく、生徒同士の対話を促す。  
「一方向授業 (15年以上前) →言語活動の充実 (10年前) →主体的・対話的で深い学び」)
- ④ 教材を精選する。(網羅的な説明から要点を絞った説明に。)
- ⑤ 教科に対する生徒の興味・関心を高める手法について研究・実践する。
- ⑥ 授業づくりに有効なICTやアプリに関する情報共有を行い、授業に取り入れる。  
(説明をコンパクトに。生徒の発表の効率向上。)
- ⑦ 生徒に考えを発表させる場면을意識的に設ける。  
(ICTを活用する。先生に発表するのではなく、クラス全員に向けて発表する。)
- ⑧ タイマーを活用し、時間管理を徹底する。
- ⑨ 授業の終わりに振り返りをさせる。(振り返りシートを活用する。)  
(生徒自身の振り返り、授業の振り返り、主体的に学習する態度の評価に繋げる。)
- ⑩ 生徒が55分間いきいきと取り組める授業を目指し、絶えず研鑽する。

- ② 授業改善の取組 <自立心>
- ③ 観点別評価の活用 <メタ認知力>
- ④ 課題の質・量について留意するとともに、部活動ガイドラインを遵守し、限られた活動時間で高い目標を目指す。 <メタ認知力>

(4) 「カリキュラム・マネジメント」の充実（GP. 1＜自立心・メタ認知力＞）

- ① SAHコア会議や教員研修等を実施し、すべての教職員で学校の教育活動を定期的に見直す。
- ② 次年度（令和7年度）のスクールミッションやスクール・ポリシー、育てたい資質・能力、グランドデザイン等を検討・作成し、これらに基づいた教育活動を推進する。

(5) 「社会に開かれた教育課程」の充実（GP. 2＜探究力・挑戦力＞）

- ① 学校での学びを学校内だけに閉じず、外部の教育力を積極的に活用し、社会との接点を充実させる。
- ② 「総合的な探究の時間」において、探究活動における基礎的知識・視点をインプットするとともに、フィールドワーク等を通して、社会を知り、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現する。また、探究活動の成果を総合型選抜につなげ、高い進路実現をサポートする。
- ③ 希望者を対象にした「発展探究」を設定し、より高度な探究活動を行う。
- ④ Web ページ・学校説明会・各種通信等により情報発信に努める。

(6) 生徒の主体的取組の支援とグローバル教育の推進

（GP. 1, 2, 3＜自立心・メタ認知力・探究力・挑戦力・粘り強さ・グローバル力＞）

- ① 生徒から構成される「生徒SAH委員会」からの8つの提案を支援する。
- ② 生徒が主体的に関わる開校記念式典を支援する。
- ③ 生徒主体の修学旅行の実施を検討する。
- ④ 3年間を見通したグローバル教育の確立を目指す。

(7) 生徒指導・教育相談の充実、安全教育の徹底

（GP. 1, 3＜自立心・メタ認知力・人間性・粘り強さ＞）

- ① 「清楚品位」を重んじ、規範意識を醸成する。
- ② 勉学と部活動の両立を支援するとともに、心と体の健康を支援する。
- ③ 生徒指導部、教育相談部とスクールカウンセラー等と連携し、組織的なきめ細かい指導に努める。
- ④ 交通マナーを遵守し、事故の未然防止に努める。また、施設の点検・環境整備に努め、安全な学校環境を整備する。